

グループディスカッション(総務委員会)

1	<p>市民も市役所にお金がかかることを願うばかりではなく、市役所がどうしたらお金を増やすことが出来るか(光熱費の節約など)といったことを考えていくべきだ。例えば、東大和市全体(公共、一般家庭、事業所など全て)の130億円(2019年度)ということだ。この光熱費が市外に出ていってしまっていると考えられるのもったいない。財政的に厳しい市としてはこの光熱費を市内で循環させることを考えるのも一案ではないか。東大和市の場合、全体の光熱費の中で大きく占めるのは一般家庭だ。東大和市の一人当たりのCO₂年間排出量は平均すると約3.5tで全国平均9.0tより大幅に少ない。よって、一般家庭の光熱費の削減を行えば、CO₂の排出量もさらに削減される。その取組み=太陽光発電設置や断熱材設置等を市内の工務店や事業所で行えば、産業も活性化し、一般家庭が大幅に占めている光熱費の削減にもなる。</p> <p>しかし、東京都の太陽光発電設置の施策を見ても大手のハウスメーカーなどが主体となっている。都は中小企業も・・・と言っているが、実際、中小企業でそこまでの技術を持っているところは少ない。</p> <p>東大和市内の事業者には大手企業が持っている技術を習得させて育てるといったことを、市が主導して行っていけば、大手とタイアップできるようになり、市内の業者も潤うのではないか。</p> <p>また、家電を買い替える際も、少し割高になっても省エネ機器の購入を市民がすることも一案だ。経済産業省HPには、省エネ家電の一覧が掲載されている。市報などで、経済産業省のHPを紹介するなど「家電を購入する際は省エネ機器を」といった呼びかけをすることも一案だ。</p> <p>さらに、東大和市内にも風力発電が出来る場所があるとのことだ。大型のものではなく、小型で、例えば公園の外灯の電力が賄えるという程度のものだが、環境省のデータにある。</p> <p>電球をLEDに変える、風力発電を設置するなど出来る限り、市内業者に依頼することで省エネと共に市の事業も活性化できる。</p> <p>産業の活性化ということは、以前は、大きな工場を誘致するということだったが、地元の事業者はどうやって仕事をしてもらうのかということでも市外に出ていくお金を市内に戻すことが出来る。</p> <p>今回、紹介したことが正解だと強く主張しているのではなく、財政状況が厳しい、厳しいというばかりではなく、市外にお金が出ていかない取組はないかという視点で、様々な事柄を見てほしい。</p> <p>杉並区の区長は、省エネと産業の活性化を組み合わせた取組みを行おうと考えていると聞いている。</p> <p>そのような取組みも考えてほしい。</p> <p>※ご意見で出てきたデータはご持参いただいた資料に基づくもの。</p>
2	<p>コロナ禍で議会の傍聴にはしばらく足を運ばなかった。インターネットでの中継は見ているが、やはり、実際に傍聴に行くのとは全く違う。傍聴に行くと、雰囲気もわかるし、映っていない議員のことも見えるので、傍聴の方が良い。</p>

3	東大和市には臨時職員が多すぎるのではないかと。カウンター等には、接遇の教育を受けてきたのか？と疑いたくなる職員が多い。安いからということで、委託を進めるのはどうか考えた方が良いのではないかと。十何年前と比較すると貯蓄も増えているのではないかと。私の要望を聞く前に「それはこうです」と、先に言われたようなことが何度かあった。また、市役所を歩いていると「あなた、何しに来たの」といった風を感じる冷たい態度を取られたこともあった。
4	カウンターを委託先の人が行っていると、用が済まず、後ろから市の職員が出てくることがあった。余計に手間だし、時間もかかるので、どうかと感じたことがあった。また、一市民で行った際の対応と議員に同伴してもらった際の対応が違うことがあった。議員が同伴すると丁寧さが違った。そういうことは改善すべきだと思う。
5	臨時職員は、腰掛的になってしまいモチベーションが持てなくなってしまうことがあるのではないかと。頑張れば正規職員になれる等、次の道を示せる制度があれば、臨時職員でもモチベーション高く仕事をするようになるのではないかと。

グループディスカッション（厚生文教委員会）

1	国保税が平成30年から6年連続値上げをしているが、歳入の見込みに対して、歳出は見込より少なくなっている。 毎年余剰金が出て、毎年繰越金が増えている。予算の見込み違いではないかと。
2	民間活力の導入について、大手ではなく、市内の業者に委託できないかと。 市内業者を育てる必要があるのではないかと。
3	ひきこもり家族会に参加しているが、市内にどれだけのひきこもりがいるかわからない状況である。 今問題になっているのは親亡き後のことである。 ひきこもりの方が自立し、住居を借りようと思っても、借りられない状況であるため、一歩が踏み出せない。
4	ひきこもりについて勉強しているが、江戸川区は人口70万に対し、ひきこもりが8千人いると聞いている。また、駄菓子屋を開いていると聞いている。 ひきこもりの方に対しITの能力を活かせると思われているが、それよりも、ひきこもりの原因となる小中学校の対応、ケアをしてほしい。 教育体制を考えていただきたい。 行政はひきこもりに対しどうしているのか聞きたい。
5	行政の窓口対応について、筋違いの対応が見受けられる。 職員に対して研修を強化していただきたい。
6	市民の声を聴いていただく場を多くつくっていただきたい。

グループディスカッション（建設環境委員会）

1	空堀川の整備が進んでいるが、都から移管された時に即対応出来るような、周辺環境整備（トイレ、ベンチ等）を先んじて推進してほしい。
2	市が取り組む観光政策等について常々中途半端に感じる。例えば、「すみません多摩湖は東大和のものです」のポスターなどはインパクトのある良い企画ではあるが、掲示枚数が少なすぎる。市内各所に積極的に掲示するような展開が必要ではないか。そうすることで、市民の郷土愛の高まりの一助になると思う。
3	数少ない観光資源のもととなる、樹木や水の保全に努めていただきたい。

最後の全体の時間で出た意見

1	国保税に対する適切な予算組に対する検証について
2	民間活力導入あり方について⇒市内業者の有効活用の検討を
3	コロナ禍にあっても、東大和市議会としては前向き、積極的な要望をしてほしい

◎ 東大和市議会「市民の声を聴く会」でいただきました御意見等につきましては、様々な機会を通じて取り上げるなどして、今後の議会活動に活かせるよう参考にさせていただきます。